

S.C.WORKS 今週のスタディ！

【ヘッドライン】

- 1) 「イトーヨーカ堂、大規模災害に備えメーカーの在庫量把握」
- 2) 「“エキモなんば” 10月31日オープンへ、関西初“ランキンランキン”も」
- 3) 「全国の大学に“100円朝食”広がる 食生活改善促し、授業出席率アップも？」

---

1) 「イトーヨーカ堂、大規模災害に備えメーカーの在庫量把握」

イトーヨーカ堂は大規模災害時の備えとして、取引メーカーの協力を得て取引先工場や物流センターの在庫数量の把握に乗り出した。災害時に必要な商品について、取引先の在庫量を拠点ごとに把握できていれば商品の手当てが効率化でき、少しでも供給を増やすことができると判断。大手小売業がメーカーの在庫量まで把握する取り組みは珍しい。

ヨーカ堂は災害時に必要性が高い飲料関係や麺類などのカテゴリーについて、メーカーの工場、物流センターにおける通常の在庫量について調査を進めている。首脳陣が直接メーカーに出向くなどして事情を説明。情報を共有する体制の構築に乗り出している。すでに協力を得たメーカー数は約100社に上るという。

同社などの調べによると、南海トラフが引き起こす巨大地震の発生を想定した場合、被災地域で生産されている食料品はカップ麺で50%という高い割合に上るほか、飲料水も27%、コメは8%であることが分かった。

大きな災害がここ数年頻繁に発生するようになり、各々の意識も高くなっている。とはいえ、個人で出来ることには限界があるため、こうして企業同士が横の連携を持ち対策にあたってくれるということはとても心強い。店の少ない地方の方が自然と密接で災害に遭う確率が高いが、そうしたところにもスムーズに物資が届くようになればと思う。

---

2) 「“エキモなんば” 10月31日オープンへ、関西初“ランキンランキン”も」

大阪市交通局・南海商事・東急不動産は10月21日、大阪市営地下鉄御堂筋線なんば駅構内に開業する駅ナカ商業施設「ekimo (エキモ) なんば」を、同31日12時に開業すると発表した。

施設コンセプトは「便利+愉 (エンターテインメント)」。ターミナル駅であり、道頓堀などの観光スポットに近いことから、利便性の高い店とともに、エンターテインメント性の高い店を誘致した。なんば駅地下1階コンコースの北改札北側の「NORTHゾーン」に11店舗、中改札と南改札間の「SOUTHゾーン」に8店舗の、計19店舗を出店する。面積は1047平方メートルで、売り上げは年商19億円を目標に据える。

出店するのは、結婚式場案内や、カフェ、週替りのスイーツや服飾・雑貨店など様々。東急レクリエーションが運営するランキンランキンは、雑貨日用品・コスメグッズ・菓子・食品・飲料・書籍などさまざまなジャンル「ランキング上位商品」と「注目商品」のみを取扱い、常時約300種類のランキングカテゴリーで約1000アイテムを展示販売する「流行発信ショップ」。現在、首都圏に4店舗を展開しており、関西初出店。ランキング変動により常時アイテムを入れ替えるほか、流行や季節に応じカテゴリーの入れ替えも行う。

梅田の開発が進む中、天王寺や難波などミナミも負けじと再開発が進み活気づいている。ランキングショップなど、行く度に変化のあるお店だといつでも新鮮な発見がありそうだ。キタ・ミナミが競い合って、更に行きたくなる場所になって欲しい。

---

### 3) 「全国の大学に“100円朝食”広がる 食生活改善促し、授業出席率アップも？」

立命館大学はびわこ・くさつキャンパスで、「100円朝定食」を始めた。朝食をとらずに通学する学生が多く、健康管理に配慮してもらうのが目的だ。同じ取り組みは、全国の複数の大学で実施されている。朝食無料という大胆なサービスを提供する例もある。

献立はご飯とみそ汁、加えて焼き魚やひじき、ほうれんそうのおひたし、納豆などから3品が選べ、栄養満点。2013年10月21日-11月1日の期間、朝8時15分-8時40分までの間にレジで精算を済ませた学生を対象に提供する。

同大学の2012年度学生定期健康診断問診票によると、朝食をとるかという設問に対して回答者2万8340人中「いいえ」が9.3%、「時々」が31.5%に上った。つまり全体の4割が、毎朝は食事をとっていない。在校生の約半数がひとり暮らしをしているが、保護者を対象にしたアンケートでは、子どもの健康が不安との意見が多く寄せられた。このため、学生が朝食をとる習慣を身につけて健康管理と生活習慣を見直してもらおうと試験的に導入したという。従来260円で提供していた朝食と差額が出るが、学部の在校生の保護者が加盟する「父母教育後援会」が支援して100円での提供が実現した。

大手外食チェーンで朝食戦争が繰り広げられてきたが、こうしたところでも朝食に関する取り組みが行われている。この例は商売ではなく学生たちの健康を案じてのことだが、やはり生活の中における朝食への注目は高いことがわかる。学生たちにもこの取り組みの本位を理解してもらえたら、とても価値のあるものだと思う。